

fi-680PRF/PRB インプリンタ

オペレーターガイド

目次

はじめに	2
本書をお読みになる前に.....	2
第1章 お使いになる前に.....	4
1.1 特長.....	4
1.2 各部の名称と働き	4
第2章 基本的な操作方法.....	6
2.1 プリントカートリッジの取り付け	6
2.2 動作確認.....	8
2.3 印刷位置の合わせ方.....	9
2.4 印刷設定.....	11
2.5 プリントカートリッジの交換.....	11
第3章 日常のお手入れ.....	15
3.1 プリントカートリッジの清掃	15
3.2 インプリンタの清掃.....	15
第4章 エラーメッセージ.....	17
第5章 仕様.....	18
修理・お問い合わせについて.....	20

はじめに

このたびは、fi-680PRF（表面インプリンタ） / fi-680PRB（裏面インプリンタ）をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

安全にお使いいただくために

添付の安全上のご注意には、本製品を安全に正しくお使いいただくための重要な情報が記載されています。

本製品をお使いになる前に安全上のご注意を必ずお読みになり、理解されたうえで本製品をお使いください。

本製品について

本製品を使うと、読み取った原稿にアルファベットや数字などの文字列を印刷できます。

本製品は、以下の機種に搭載できます。

- fi-6400/fi-6800
- fi-7800/fi-7900

以降、上記の機種を区別しない場合は、スキャナーと表記します。

本書は、2種類のインプリンタについて説明しています。

品名	型名	名称	総称
fi-680PRF	FI-680PRF	表面インプリンタ	インプリンタ
fi-680PRB	FI-680PRB	裏面インプリンタ	

本書の記載内容について

本書は、インプリンタの使い方について説明しています。本書に従って正しくご使用ください。

スキャナーの使い方については、使用しているスキャナーに添付されている Setup DVD-ROM 内のオペレーターガイドを参照してください。

本書がインプリンタを活用していただくために、皆様のお役に立つことを願っております。

商標および登録商標について

Microsoft、Windows、および Windows Server は、マイクロソフトグループの企業の商標です。

PaperStream は、株式会社 PFU の日本における登録商標です。

その他の社名、製品名は、一般に各社の商標または登録商標です。

開発・販売元

株式会社 PFU

〒220-8567

神奈川県横浜市西区みなとみらい 4-4-5



(横浜アイマークプレイス)

© PFU Limited 2009-2023

本書をお読みになる前に

本書で使用している記号について

本書では、警告表示とは別に、説明中に次の記号を使用しています。

	特に注意が必要な事項が書かれています。必ずお読みください。
	操作に関するワンポイントアドバイスが書かれています。

本書の表記について

本文中では製品名を、次のように略して表記します。

製品名称	本文中の表記	
Windows Server® 2012 Standard (64 ビット)	Windows Server 2012	Windows (*1)
Windows Server® 2012 R2 Standard (64 ビット)	Windows Server 2012 R2	
Windows® 10 Home (32/64 ビット)、 Windows® 10 Pro (32/64 ビット)、 Windows® 10 Enterprise (32/64 ビット)、 Windows® 10 Education (32/64 ビット)	Windows 10	
Windows Server® 2016 Standard (64 ビット)	Windows Server 2016	
Windows Server® 2019 Standard (64 ビット)	Windows Server 2019	
Windows Server® 2022 Standard (64 ビット)	Windows Server 2022	

製品名称	本文中の表記	
Windows® 11 Home (64 ビット)、 Windows® 11 Pro (64 ビット)、 Windows® 11 Enterprise (64 ビット)、 Windows® 11 Education (64 ビット)	Windows 11	Windows (*1)
PaperStream IP (TWAIN) PaperStream IP (TWAIN x64) PaperStream IP (ISIS) Bundle	PaperStream IP ドライバ	

*1) すべてのオペレーティングシステムを区別しないで使用する場合は、Windows と表記しています。

連続する操作の表記について

本文中の操作手順において、連続する操作手順を「→」でつなげて記述しています。

例: 「スキャン」メニュー → 「スキャナーの設定」をクリックします。

本書に記載されている画面について

Microsoft Corporation のガイドラインに従って画面写真を使用しています。

画面は、改善のため予告なく変更することがあります。

表示された画面が、本書に掲載されている画面と異なる場合は、対象ソフトウェアのマニュアルを参考にし、実際の画面に従って操作してください。

オペレーティングシステムによって表示される画面および操作が異なります。また、ソフトウェアをアップデートすると、本書で掲載している画面および操作が異なることがあります。その場合は、アップデートするときに提供されるマニュアルを参照してください。

第1章 お使いになる前に

この章では、インプリンタの特長と各部の名称と働きについて説明します。

1.1 特長

インプリンタをスキャナーに搭載すると、ADF（自動給紙機構）で読み取った原稿にアルファベットや数字などの文字列を印刷できます。

この機能を使うと、読み取った原稿に名前や日付、連番を付けて管理できます。

表面インプリンタは原稿の表面に、裏面インプリンタは原稿の裏面に文字列を印刷できます。



表面インプリンタと裏面インプリンタは、スキャナーに同時に搭載できます。
ただし、同時に印刷はできません。用途に応じて、どちらかのインプリンタを指定してください。

1.2 各部の名称と働き

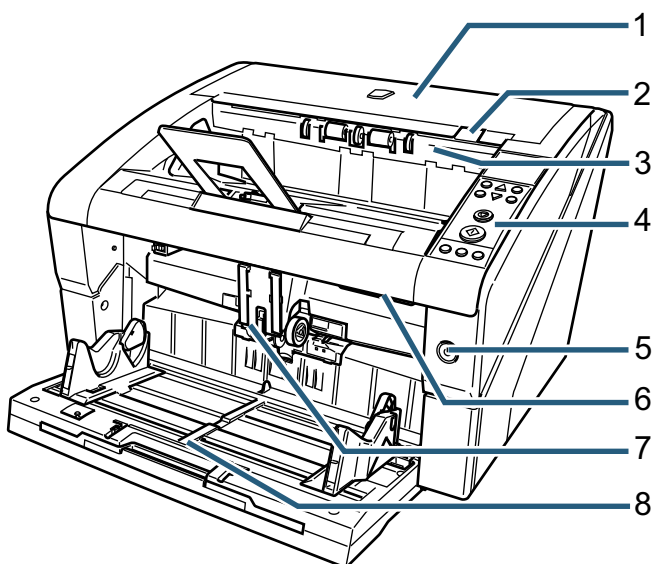
インプリンタの各部名称について説明します。



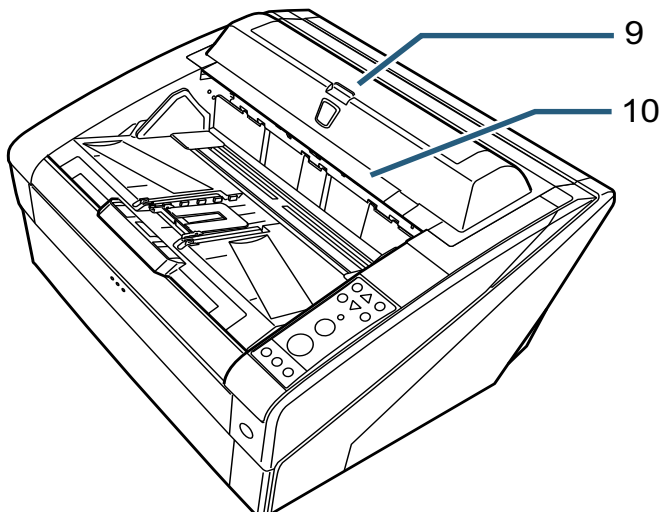
スキャナーの各部の名称と働きは、使用しているスキャナーのオペレーターガイドを参照してください。

■ 外観

表面インプリンタ搭載時

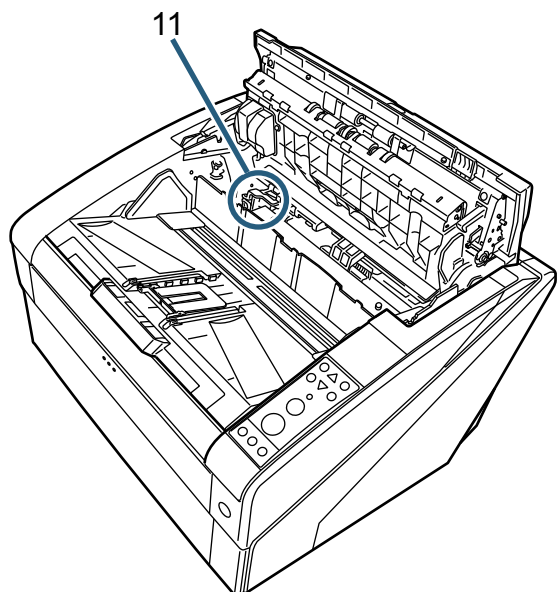


裏面インプリンタ搭載時



- 1 **トップカバー**
ADF（排出口付近）のカバーです。
排出口付近の原稿づまりを取り除いたり、内部を清掃したり、プリントカートリッジを交換したりするときに開きます。
- 2 **トップカバーオープンレバー**
押し上げると、トップカバーが開きます。
- 3 **排出搬送ユニット**
表面インプリンタのプリントカートリッジを交換したり、印字位置を調整するときに開きます。
- 4 **操作パネル**
液晶ディスプレイ、ボタンおよびLEDから構成されています。
スキャナーを操作したり、スキャナーの状態を確認したりできます。
- 5 **電源ボタン**
スキャナーの電源を投入/切断します。
- 6 **ADFオープンレバー**
押し上げると、ADFが開きます。
- 7 **ADF**
ホッパーにセットした原稿を、1枚ずつ引き込んで搬送します。
消耗品の交換や、内部を清掃するときに開きます。
- 8 **ホッパー**
読み取る原稿をセットするための台です。
- 9 **裏面インプリンタカバー**
裏面インプリンタのプリントカートリッジを交換したり、印字位置を調整するときに開きます。
- 10 **トップカバー（裏面インプリンタ搭載時）**
ADF（排出口付近）のカバーです。
排出口付近の原稿づまりを取り除いたり、内部を清掃したり、プリントカートリッジを交換したりするときに開きます。

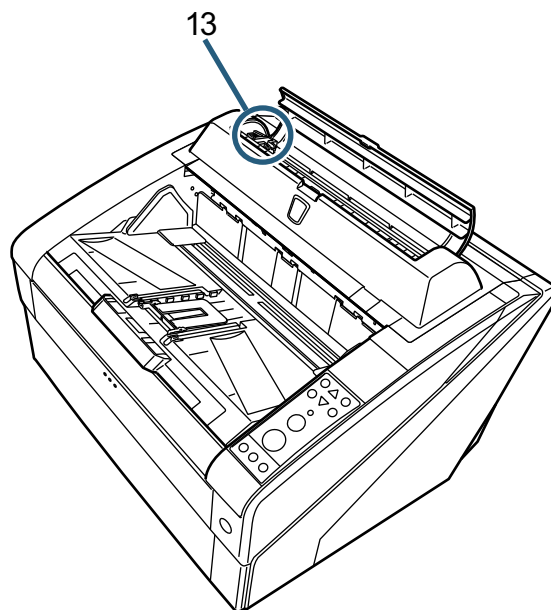
■ 排出搬送ユニット内部



11 プリントカートリッジホルダー

表面インプリンタのプリントカートリッジをセットします。

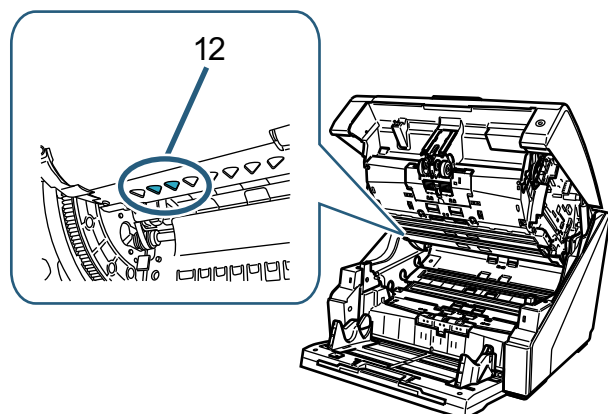
■ 裏面インプリンタカバー内部



13 プリントカートリッジホルダー

裏面インプリンタのプリントカートリッジをセットします。

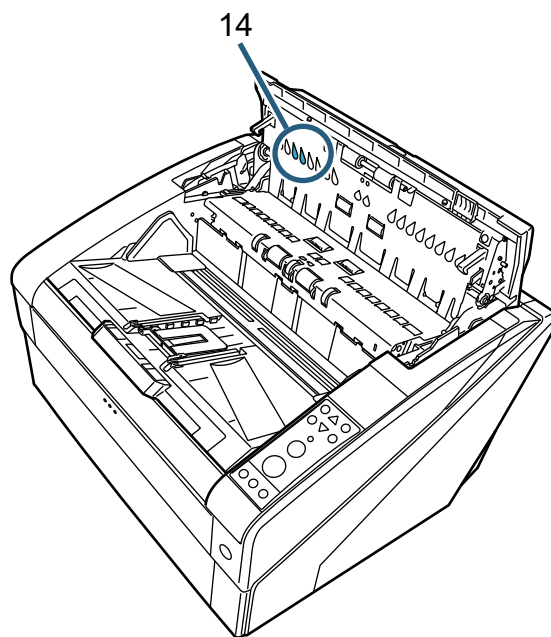
■ ADF 内部



12 印字ヘッド

表面インプリンタの印字ヘッドです。

■ トップカバー内部



14 印字ヘッド

裏面インプリンタの印字ヘッドです。

第2章 基本的な操作方法

この章では、インプリンタの基本的な操作方法を説明します。

2.1 プリントカートリッジの取り付け

次の手順でプリントカートリッジを取り付けます。

⚠ 注意

- 必ずスキャナーの電源を切断し、電源ケーブルをコンセントから抜いて作業を行ってください。スキャナーの電源を入れたままプリントカートリッジを取り付けると、感電や装置の故障の原因となります。
- 当社指定のプリントカートリッジ以外は、使用しないでください。装置の故障の原因となります。
- プリントカートリッジを取り付けるときは、手をはさむなどのけがをしないように注意してください。



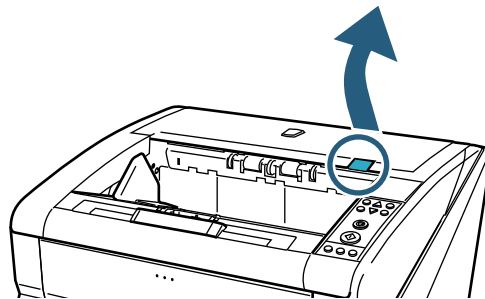
プリントカートリッジを取り付けるときは、プリントカートリッジを挿入する向きに注意してください。



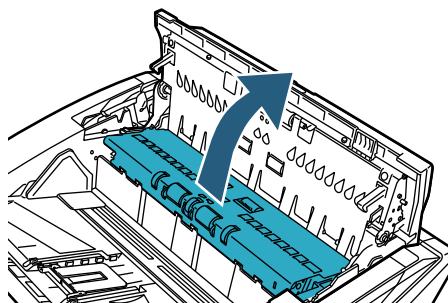
- スキャナーの操作方法は、使用しているスキャナーのオペレーターガイドを参照してください。
- プリントカートリッジのお問い合わせや購入先は、「サプライ用品の購入先」(20 ページ)を参照してください。

■ 表面インプリンタの場合

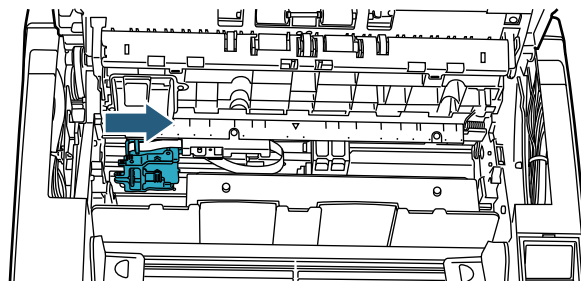
- 1 スキャナーの電源ケーブルが抜けていることを確認します。
- 2 トップカバーオープンレバーに指をそえて、押し上げるようにしてトップカバーを開きます。



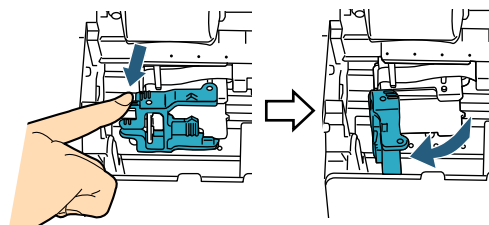
- 3 排出搬送ユニットを持ち上げます。



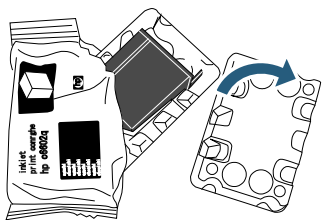
- 4 プリントカートリッジホルダーを、作業しやすい位置に移動します。



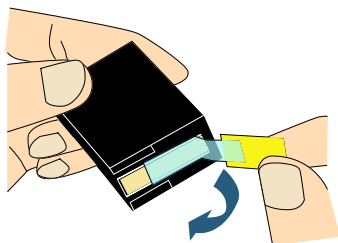
- 5 プリントカートリッジホルダーのカバーを開きます。
 - 1) レバーを押してロックを外します。
 - 2) カバーを左方向に開きます。



6 袋からプリントカートリッジを取り出します。

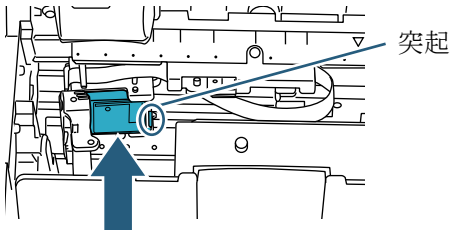


7 保護テープをはがします。



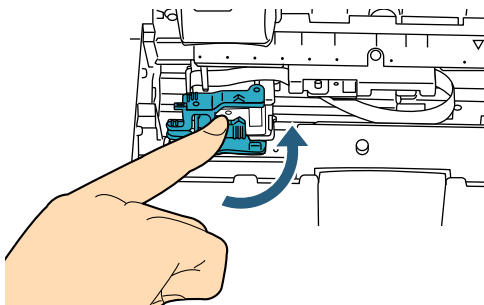
金属部分に触れたり、テープを貼り直したりしないでください。

8 プリントカートリッジをプリントカートリッジホルダーに挿入します。



- プリントカートリッジは、突起のある方を右側にして取り付けてください。
- プリントカートリッジを配線フィルムに引っ掛けて、配線フィルムを破損しないように注意してください。

9 プリントカートリッジホルダーのカバーを、右方向にロックがかかるまでゆっくりと閉じて、プリントカートリッジを固定します。



10 印字位置合わせポインターの先端を、印刷したい位置の印字位置マークに合わせます。
(「2.3 印刷位置の合わせ方」の「表面インプリンタの場合」(9 ページ) 手順3以降を参照)

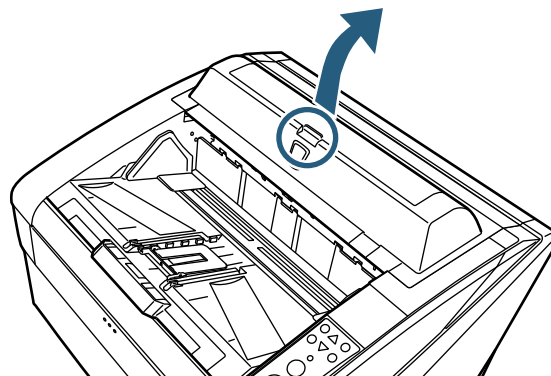


印字位置合わせポインターの先端を、印字位置マークに合わせて、プリントカートリッジをセットしてください。位置が合っていないと、印字できなかったり、インクよごれが発生することがあります。

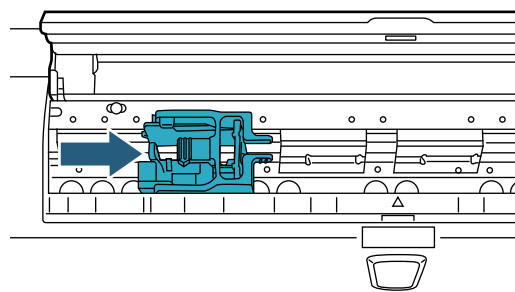
11 引き続き、動作確認をします。
(「2.2 動作確認」(8 ページ) を参照)

■ 裏面インプリンタの場合

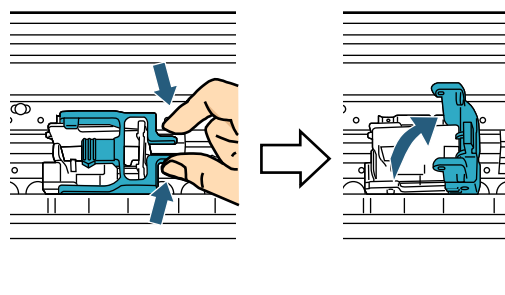
- 1 スキャナーの電源ケーブルが抜けていることを確認します。
- 2 裏面インプリンタカバーのツメを押しながら、上方向に開きます。



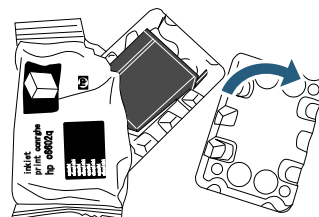
- 3 プリントカートリッジホルダーを、作業しやすい位置に移動します。



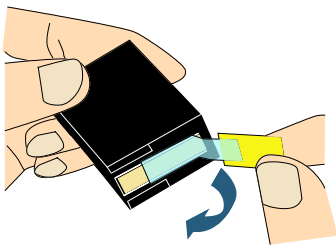
- 4 プリントカートリッジホルダーのカバーを開きます。
 - 1) レバーをつまんでロックを外します。
 - 2) カバーを右方向に開きます。



- 5 袋からプリントカートリッジを取り出します。

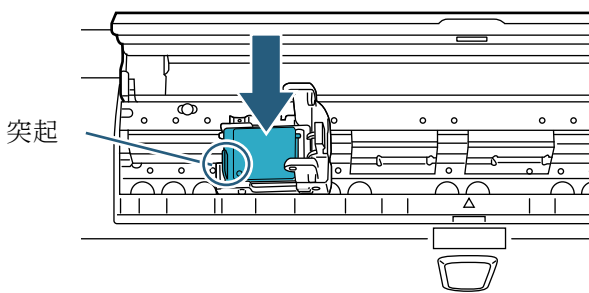


6 保護テープをはがします。



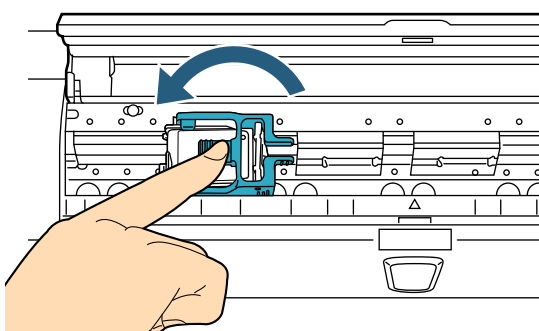
! 金属部分に触れたり、テープを貼り直したりしないでください。

7 プリントカートリッジをプリントカートリッジホルダーに挿入します。



- !** ● プリントカートリッジは、突起のある方を左側にして取り付けてください。
- プリントカートリッジを配線フィルムに引っ掛けて、配線フィルムを破損しないように注意してください。

8 プリントカートリッジホルダーのカバーを、左方向にロックがかかるまでゆっくりと閉じて、プリントカートリッジを固定します。



9 印字位置合わせポインターの先端を、印刷したい位置の印字位置マークに合わせます。 (「2.3 印刷位置の合わせ方」の「裏面インプリンタの場合」(10 ページ) 手順 2 以降を参照)

! 印字位置合わせポインターの先端を、印字位置マークに合わせて、プリントカートリッジをセットしてください。位置が合っていないと、印字できなかったり、インクよごれが発生することがあります。

10 引き続き、動作確認をします。

(「2.2 動作確認」(8 ページ) を参照)

2.2 動作確認

プリントカートリッジの取り付けが終了したら、文字の印刷ができることを確認します。



操作パネルの詳細は、使用しているスキャナーのオペレーターガイドを参照してください。

操作パネルのボタンの文字は、操作パネルオーバーレイ(文字の書かれたシート)の言語によって異なります。本書では、英語の場合を例に説明します。

1 スキャナーの前面にある電源ボタンを押します。

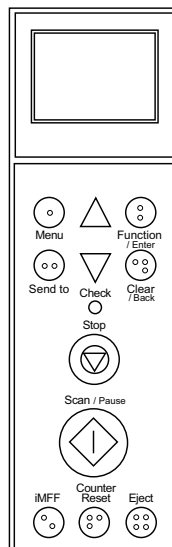
⇒ 液晶ディスプレイに「読み取り可能」画面が表示されます。

2 ホッパーに白紙をセットします。



- A4 またはレターサイズ以上の白紙をご使用ください。長さが短い場合は、途中までしか印字されることがあります。
- プリントカートリッジの位置が白紙の紙幅内にあることを確認してください。

3 [Menu] ボタンを押します。



⇒ 液晶ディスプレイに「メニュー選択」画面が表示されます。

4 [△] ボタンまたは [▽] ボタンで「22: 印字テスト」を選択し、[Function/Enter] ボタンで確定します。

⇒ 液晶ディスプレイに「読み取り枚数」画面が表示されます。



インプリンタが接続されていない、または正しく接続されていない場合は、液晶ディスプレイに「インプリンタが接続されていないため、この機能は使用することができません。」と表示されます。

5 [△] ボタンまたは [▽] ボタンで「1: 一枚のみ」または「2: 複数枚」を選択し、[Function/Enter] ボタンで確定します。

「2: 複数枚」を指定した場合は、ホッパーにセットされているすべての白紙に印字を行います。

⇒ 液晶ディスプレイに「印字」画面が表示されます。



表面インプリンタまたは裏面インプリンタのどちらか一方だけが搭載されている場合は、液晶ディスプレイに「印字パターン」画面が表示され、手順7に進みます。

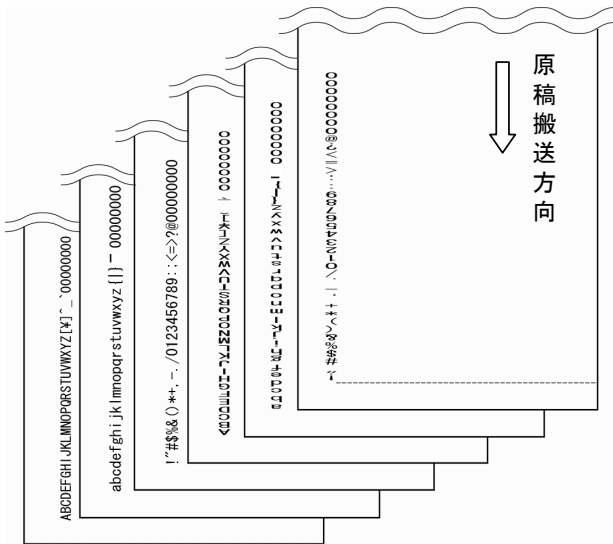
- 6 [△] ボタンまたは [▽] ボタンで印字するインプリンタを選択し、[Function/Enter] ボタンで確定します。
- 表面インプリンタの場合は「1: 表面」、裏面インプリンタの場合は「2: 裏面」を選択します。
- ⇒ 液晶ディスプレイに「印字パターン」画面が表示されます。
- 7 [△] ボタンまたは [▽] ボタンで印字パターンを選択し、[Function/Enter] ボタンで確定します。



次のような縦書きと横書きの印字パターンがあります。

- 1:(L)ABCDEFGHIJKLMNPOQRSTUVWXYZ[¥]^_`00000000
- 2:(L)abcdefghijklmnopqrstuvwxyz{|}~ 00000000
- 3:(L)!"#\$%&'()*+,-./0123456789;:<=>?@00000000
- 4:(P)ABCDEFGHIJKLMNPOQRSTUVWXYZ[¥]^_`00000000
- 5:(P)abcdefghijklmnopqrstuvwxyz{|}~ 00000000
- 6:(P)!"#\$%&'()*+,-./0123456789;:<=>?@00000000

白紙を複数枚セットした場合、ホッパーにセットされているすべての白紙に印字されます。また、「00000000」の部分は、0 から始まり、1 刻みでカウントされます。



⇒ 液晶ディスプレイに「印字テスト」画面が表示されます。

- 8 [△] ボタンまたは [▽] ボタンで実行するかどうかを選択し、[Function/Enter] ボタンで確定します。
- ⇒ 白紙が搬送され、先端 5mm から印字されます (誤差 ±4mm)。

2.3 印刷位置の合わせ方

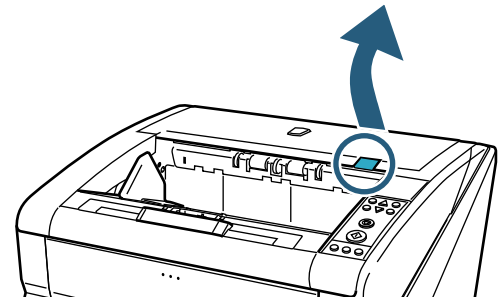
次のように印刷位置の設定を行います。

⚠ 注意

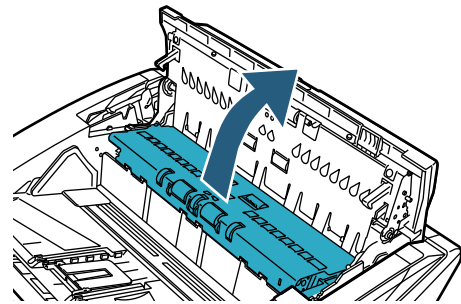
必ず印刷位置合わせを行ってください。印刷位置合わせをしないまま印刷すると、原稿に印字できなかったり、インクよごれの原因となります。

■ 表面インプリンタの場合

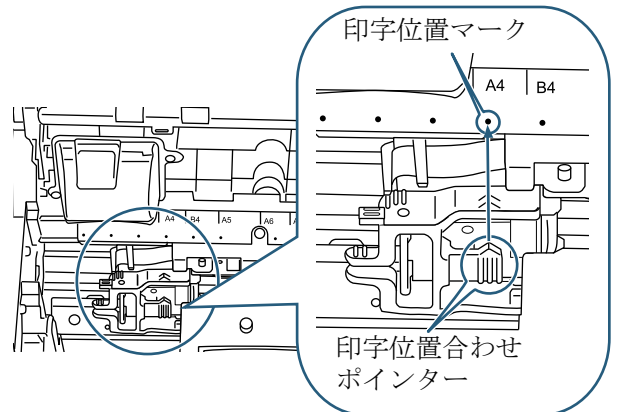
- 1 トップカバーオープンレバーに指をそえて、押し上げるようにしてトップカバーを開きます。



- 2 排出搬送ユニットを持ち上げます。



- 3 印字位置合わせポインターの先端を、印刷したい位置の印字位置マークに合わせます。



- 印字位置合わせポインターの先端を、印字位置マークに合わせて、プリントカートリッジをセットしてください。位置が合っていないと、印字できなかったり、インクよごれが発生することがあります。
- 実際に印刷する原稿をスタッカーに置き、プリントカートリッジの位置が原稿の紙幅内にあることを確認してください。

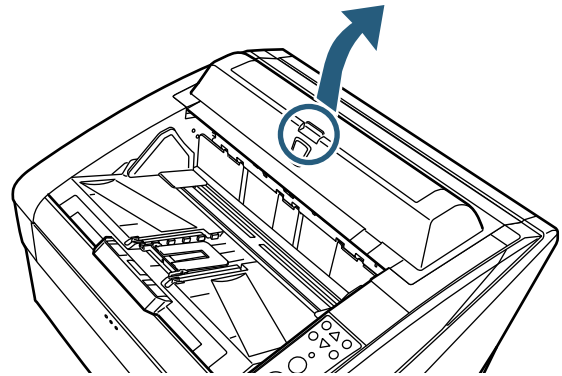


- プリントカートリッジホルダーの印字位置合わせポインターの位置に印字ヘッドがあります。印字位置の目安にしてください。
- プリントカートリッジ上方に、原稿サイズの日盛りが刻まれています。原稿幅の目安にしてください。

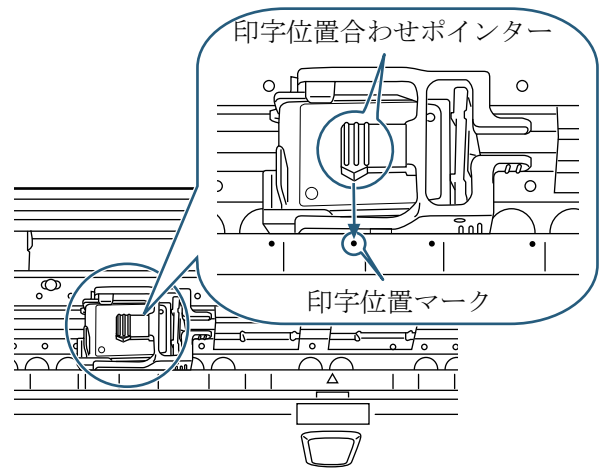
4 排出搬送ユニットとトップカバーを閉じます。

■ 裏面インプリンタの場合

- 1 裏面インプリンタカバーのツメを押しながら、上方向に開きます。



- 2 印字位置合わせポインターの先端を、印刷したい位置の印字位置マークに合わせます。



- 印字位置合わせポインターの先端を、印字位置マークに合わせて、プリントカートリッジをセットしてください。位置が合っていないと、印字できなったり、インクよごれが発生することがあります。
- 実際に印刷する原稿をスタッカーに置き、プリントカートリッジの位置が原稿の紙幅内にあることを確認してください。



- プリントカートリッジホルダーの印字位置合わせポインターの位置に印字ヘッドがあります。印字位置の目安にしてください。
- プリントカートリッジ手前に、原稿サイズの日盛りが刻まれています。原稿幅の目安にしてください。

- 3 裏面インプリンタカバーを閉じます。

2.4 印刷設定

インプリンタの印刷設定は、スキャナードライバの設定画面で行います。



スキャナードライバの呼び出し方は、アプリケーションによって異なります。詳細は、ご使用のアプリケーションのマニュアルまたはヘルプを参照してください。



次のような設定ができます。詳細は、PaperStream IP ドライバのヘルプを参照してください。

- インプリンタのオン/オフ
- デジタルエンドーサとの同期有無
- 印字の設定（フォントの種類や出力方向、印字開始位置、カウンタの初期値や増減値、印字する文字列など）

2.5 プリントカートリッジの交換

次の手順でプリントカートリッジを交換します。

注意

- 必ずスキャナーの電源を切断し、電源ケーブルをコンセントから抜いて作業を行ってください。スキャナーの電源を入れたままプリントカートリッジを交換すると、感電や装置の故障の原因となります。
- 当社指定のプリントカートリッジ以外は、使用しないでください。装置の故障の原因となります。
- プリントカートリッジを交換するときは、手をはさむなどのけがをしないように注意してください。



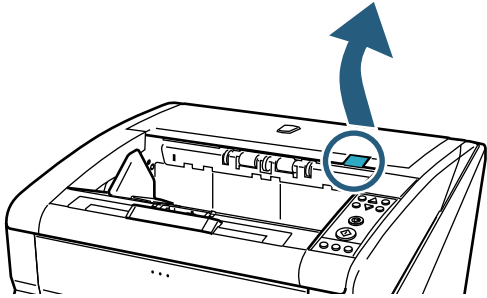
- インプリンタのインク残量が少なくなった旨のメッセージが表示されたら、すみやかにプリントカートリッジを交換してください。そのまま使い続けると、印字かすれが発生することがあります。
- プリントカートリッジを交換するときは、プリントカートリッジを挿入する向きに注意してください。



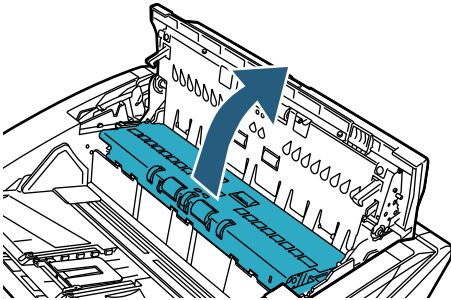
- スキャナーの操作方法は、使用しているスキャナーのオペレーターガイドを参照してください。
- プリントカートリッジのお問い合わせや購入先は、「サプライ用品の購入先」（20 ページ）を参照してください。

■ 表面インプリンタの場合

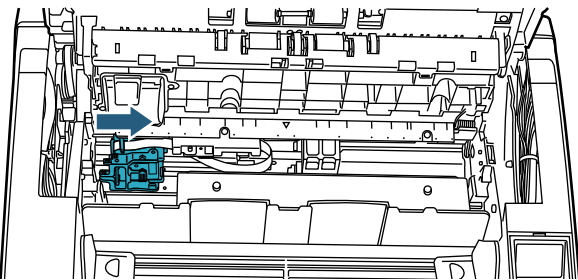
- 1 スキャナーの電源ケーブルが抜けていることを確認します。
- 2 トップカバーオープンレバーに指をそえて、押し上げるようにしてトップカバーを開きます。



- 3 排出搬送ユニットを持ち上げます。

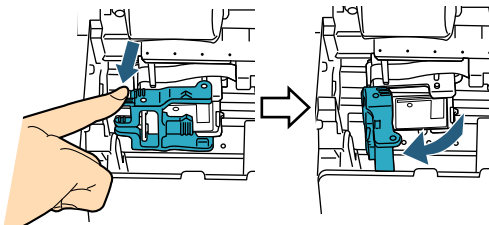


- 4 プリントカートリッジホルダーを、作業しやすい位置に移動します。

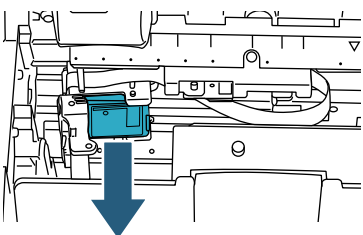


- 5 プリントカートリッジホルダーのカバーを開きます。

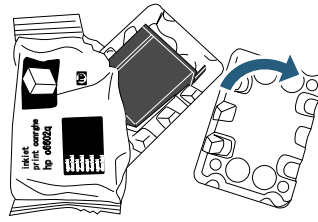
- 1) レバーを押してロックを外します。
- 2) カバーを左方向に開きます。



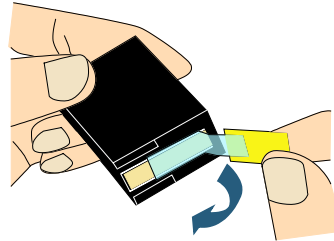
- 6 プリントカートリッジを取り外します。



- 7 新しいプリントカートリッジを袋から取り出します。

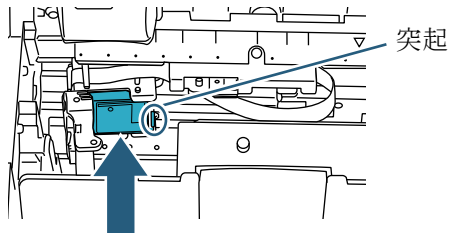


- 8 保護テープをはがします。



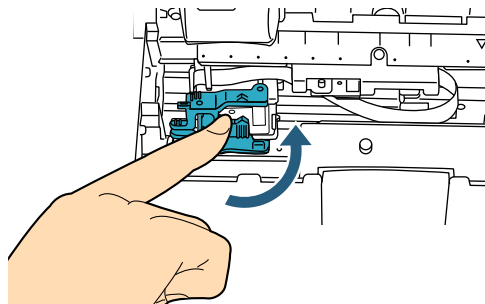
! 金属部分に触れたり、テープを貼り直したりしないでください。

- 9 新しいプリントカートリッジをプリントカートリッジホルダーに挿入します。



! ● プリントカートリッジは、突起のある方を右側にして取り付けてください。
● プリントカートリッジを配線フィルムに引っ掛けて、配線フィルムを破損しないように注意してください。

- 10 プリントカートリッジホルダーのカバーを、右方向にロックがかかるまでゆっくりと閉じて、プリントカートリッジを固定します。



- 11 印字位置合わせポインターの先端を、印刷したい位置の印字位置マークに合わせます。
(「2.3 印刷位置の合わせ方」の「表面インプリンタの場合」(9 ページ) 手順 3 以降を参照)

! 印字位置合わせポインターの先端を、印字位置マークに合わせて、プリントカートリッジをセットしてください。位置が合っていないと、印字できなかったり、インクよごれが発生することがあります。

- 12 排出搬送ユニットとトップカバーを閉じます。

13 スキャナーの電源を入れます。

14 ここでは、次の方法でインク残量カウンタをクリアします。

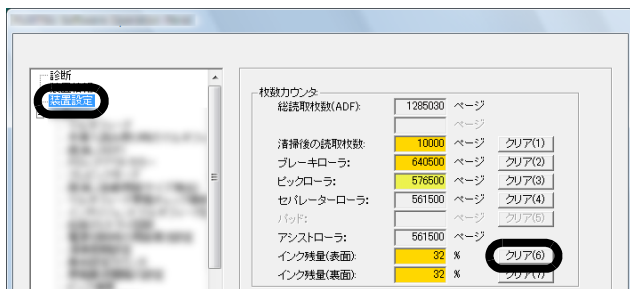


プリントカートリッジ交換後は、必ずインク残量カウンタをクリアしてください。



インク残量カウンタは、操作パネルからもクリアできます。詳細は、使用しているスキャナーのオペレーターガイドを参照してください。

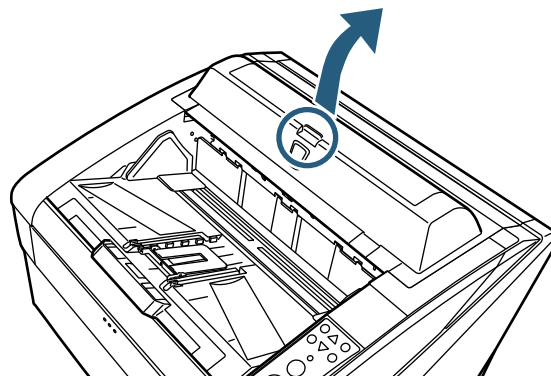
- 1) 「Software Operation Panel」画面を表示します。
Windows Server 2012
スタート画面を右クリックし、アプリバーの「すべてのアプリ」→「fi Series」の「Software Operation Panel」をクリックします。
Windows Server 2012 R2
スタート画面左下にある「↓」→「fi Series」の「Software Operation Panel」をクリックします。「↓」はマウスを動かすと表示されます。
Windows 10/Windows Server 2016/Windows Server 2019/Windows Server 2022
「スタート」メニュー→「fi Series」→「Software Operation Panel」をクリックします。
Windows 11
「スタート」メニュー→「すべてのアプリ」→「fi Series」→「Software Operation Panel」をクリックします。
- 2) 画面左のリストから「装置設定」をクリックします。



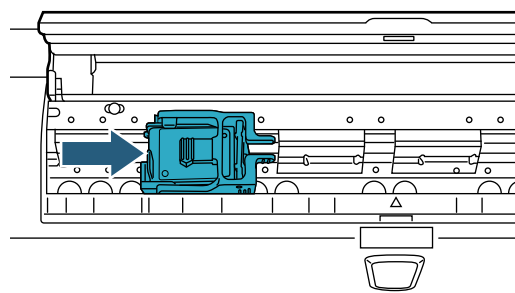
- 3) 「インク残量 (表面) :」の [クリア] ボタンをクリックします。
⇒ インク残量カウンタが 100 になります。
- 4) 「Software Operation Panel」画面の [OK] ボタンをクリックします。

■ 裏面インプリンタの場合

- 1 スキャナーの電源ケーブルが抜けていることを確認します。
- 2 裏面インプリンタカバーのツメを押しながら、上方向に開きます。

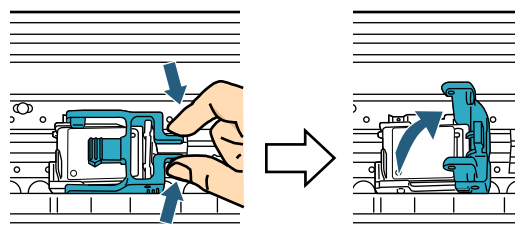


- 3 プリントカートリッジホルダーを、作業しやすい位置に移動します。

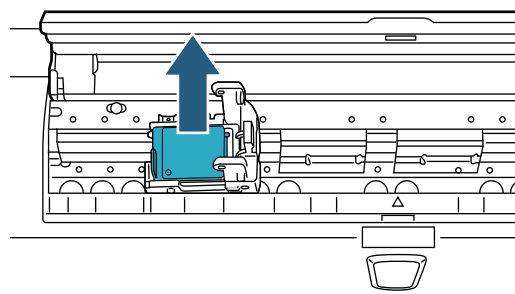


- 4 プリントカートリッジホルダーのカバーを開きます。

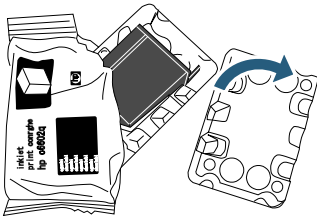
- 1) レバーをつまんでロックを外します。
- 2) カバーを右方向に開きます。



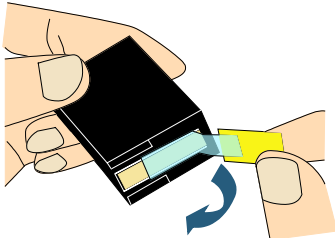
- 5 プリントカートリッジを取り外します。



- 6 新しいプリントカートリッジを袋から取り出します。

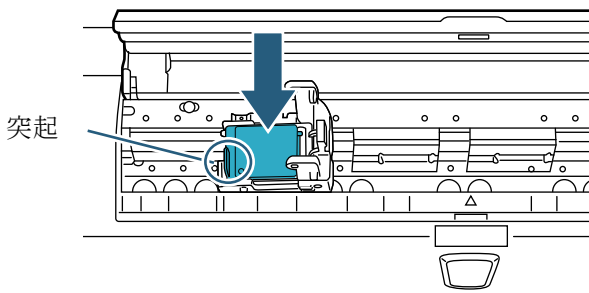


- 7 保護テープをはがします。



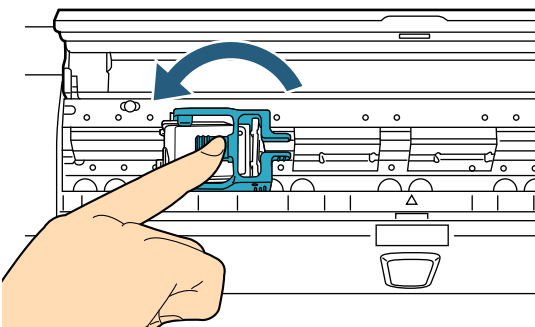
金属部分に触れたり、テープを貼り直したりしないでください。

- 8 新しいプリントカートリッジをプリントカートリッジホルダーに挿入します。



- プリントカートリッジは、突起のある方を左側にして取り付けてください。
- プリントカートリッジを配線フィルムに引っ掛けて、配線フィルムを破損しないように注意してください。

- 9 プリントカートリッジホルダーのカバーを、左方向にロックがかかるまでゆっくりと閉じて、プリントカートリッジを固定します。



- 10 印字位置合わせポインターの先端を、印刷したい位置の印字位置マークに合わせます。
(「2.3 印刷位置の合わせ方」の「裏面インプリンタの場合」(10 ページ) 手順 2 以降を参照)

印字位置合わせポインターの先端を、印字位置マークに合わせて、プリントカートリッジをセットしてください。位置が合っていないと、印字できなかったり、インクよごれが発生することがあります。

- 11 裏面インプリンタカバーを閉じます。

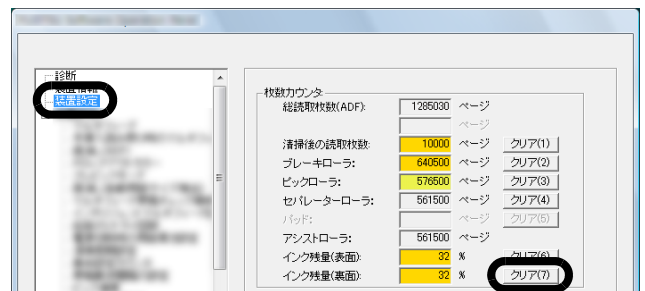
- 12 スキャナーの電源を入れます。

- 13 ここでは、次の方法でインク残量カウンタをクリアします。

プリントカートリッジ交換後は、必ずインク残量カウンタをクリアしてください。

インク残量カウンタは、操作パネルからもクリアできます。詳細は、使用しているスキャナーのオペレーターガイドを参照してください。

- 1) 「Software Operation Panel」画面を表示します。
Windows Server 2012
スタート画面を右クリックし、アプリバーの「すべてのアプリ」→「fi Series」の「Software Operation Panel」をクリックします。
Windows Server 2012 R2
スタート画面左下にある「↓」→「fi Series」の「Software Operation Panel」をクリックします。「↓」はマウスを動かすと表示されます。
Windows 10/Windows Server 2016/Windows Server 2019/Windows Server 2022
「スタート」メニュー→「fi Series」→「Software Operation Panel」をクリックします。
Windows 11
「スタート」メニュー→「すべてのアプリ」→「fi Series」→「Software Operation Panel」をクリックします。
- 2) 画面左のリストから「装置設定」をクリックします。



- 3) 「インク残量 (裏面) :」の [クリア] ボタンをクリックします。
⇒ インク残量カウンタが 100 になります。
- 4) 「Software Operation Panel」画面の [OK] ボタンをクリックします。

第3章 日常のお手入れ

この章では、インプリンタの日常のお手入れについて説明します。

警告

- スキャナー使用時は ADF 内部のガラスは高温になります。火傷をするおそれがありますので、十分注意してください。
- 清掃などの目的でエアスプレーおよびアルコールなどを含むスプレーは使用しないでください。スプレーから噴射される強い空気によって、ほこりなどがスキャナー内部に侵入し、故障やスキャナーの異常の原因となることがあります。また、静電気などによるスパーク（火花）により引火するおそれがあります。

注意

必ずスキャナーの電源を切断し、電源ケーブルをコンセントから抜いて作業を行ってください。スキャナーの電源を入れたまま清掃すると、感電や装置の故障の原因となります。



清掃には、ほこりの出にくい、乾いた布またはウェス（ティッシュペーパーは不向きです）を使用し、やさしく拭き取るようにしてください。



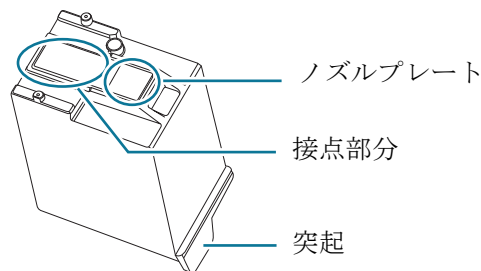
- スキャナーの操作方法は、使用しているスキャナーのオペレーターガイドを参照してください。
- 清掃用品のお問い合わせや購入先は、「サプライ用品の購入先」（20 ページ）を参照してください。

3.1 プリントカートリッジの清掃

プリントカートリッジのノズルプレートにインクなどのよごれが付着したり、しばらく使用せず放置した場合、目づまりなどにより文字が乱れることがあります。このような状態になった場合、プリントカートリッジのノズルプレートを清掃してください。清掃用品として、乾いた布またはウェスを準備してください。

- 1 スキャナーの電源ケーブルが抜けていることを確認します。
- 2 プリントカートリッジを取り外します。
（「2.5 プリントカートリッジの交換」（11 ページ）を参照）

- 3 ノズルプレートのおよごれなどをやさしく拭き取ります。



- ノズルプレートのおよごれが接点部分に付着しないように拭いてください。万一接点部分にインクが付着した場合は、よごれていない清掃用品を使って、やさしく拭き取ってください。
- 金属部分（接点部分およびノズルプレート）に直接手で触れないように注意してください。印字不良や接点不良の原因となります。

- 4 よごれが拭き取られたことを確認し、プリントカートリッジを取り付けます。
（「2.5 プリントカートリッジの交換」（11 ページ）を参照）

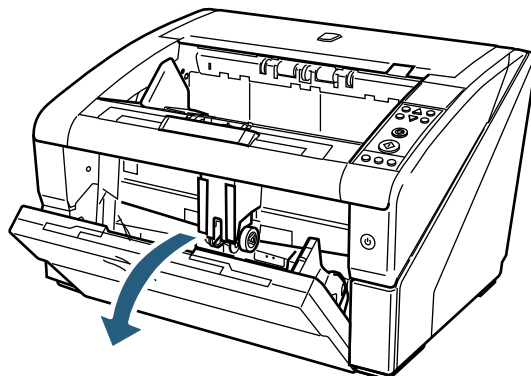
3.2 インプリンタの清掃

インクがプリントカートリッジホルダー周辺部に付くことがあります。原稿や読み取り画像のよごれの原因となるため、5,000 枚を目安に清掃してください。ただし、この目安は読み取る原稿の種類によって異なります。インクが乾きにくい原稿を使用する場合は、5,000 枚より少ない枚数での清掃が必要になることがあります。清掃用品として、次のものを準備してください。

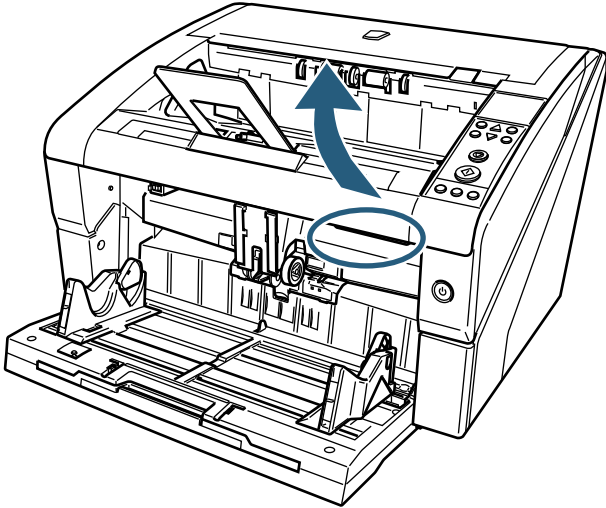
- クリーナ F1（型名：FI-C100CF1）
- 乾いた布またはウェス

■ 表面インプリンタの場合

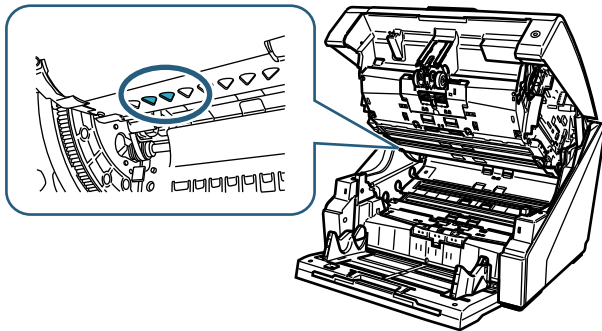
- 1 スキャナーの電源ケーブルが抜けていることを確認します。
- 2 プリントカートリッジを取り外します。
（「2.5 プリントカートリッジの交換」（11 ページ）を参照）
- 3 ホッパーを開けます。



- 4 ADF オープンレバーに手をそえて、押し上げるようにして ADF を開きます。



- 5 クリーナ F1 を浸した布で、印字ヘッドをやさしく拭き取ります。



クリーナ F1 を大量に使用すると、なかなか乾かないことがあります。適量を布にしみこませて使用してください。また、清掃箇所にクリーナ F1 が残らないように柔らかい布で本剤をよく拭き取ってください。

- 6 ADF を両手で持ち、ゆっくりと押し下げます。
ADF が固定されるまで、しっかりと押し込んでください。

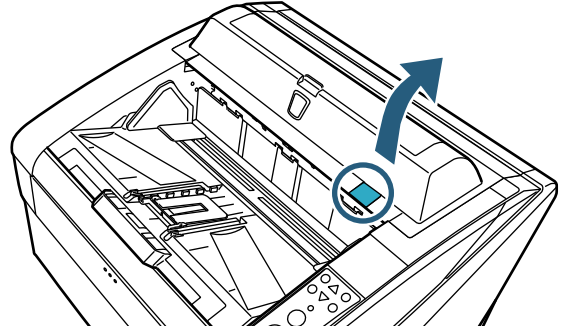


- 閉じるときは、異物が ADF 内にはさまれていないことを確認してください。
- 指をはさまないように注意してください。

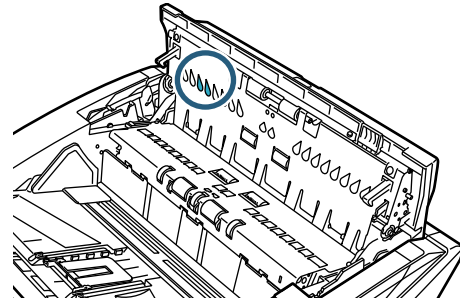
- 7 ホッパーを元に戻します。
8 プリントカートリッジを取り付けます。
(「2.5 プリントカートリッジの交換」(11 ページ)を参照)

■ 裏面インプリンタの場合

- 1 スキャナーの電源ケーブルが抜けていることを確認します。
- 2 プリントカートリッジを取り外します。
(「2.5 プリントカートリッジの交換」(11 ページ)を参照)
- 3 トップカバーオープンレバーに指をそえて、押し上げるようにしてトップカバーを開きます。



- 4 クリーナ F1 を浸した布で、印字ヘッドをやさしく拭き取ります。



クリーナ F1 を大量に使用すると、なかなか乾かないことがあります。適量を布にしみこませて使用してください。また、清掃箇所にクリーナ F1 が残らないように柔らかい布で本剤をよく拭き取ってください。

- 5 トップカバーを両手で持ち、ゆっくりと押し下げます。
トップカバーが固定されるまで、しっかりと押し込んでください。



- 閉じるときは、異物がスキャナー内にはさまれていないことを確認してください。
- 指をはさまないように注意してください。

- 6 プリントカートリッジを取り付けます。
(「2.5 プリントカートリッジの交換」(11 ページ)を参照)

第4章 エラーメッセージ

この章では、インプリンタのエラーメッセージについて説明します。
エラーメッセージは、スキャナーの操作パネルに表示されます。表示されるエラー番号とエラーメッセージをもとに、対処を行ってください。


エラーコード	エラーメッセージ	対処法
U6:B4	プリントカートリッジなし（裏面インプリンタ）	インプリンタのプリントカートリッジがセットされていません。プリントカートリッジが正しく取り付けられているかを確認してください。 この方法を試しても解決されない場合は、表示されているエラーコードをメモし、本製品をご購入された販社 / 販売店または「PFU イメージング サービス&サポートセンター」（20 ページ）に連絡してください。
U6:BA	プリントカートリッジなし（表面インプリンタ）	
A0:B2	インプリンタ異常（RAM）	インプリンタに異常が発生しています。 次の対処を行ってください。 1. プリントカートリッジが正しく取り付けられているかを確認してください。 2. スキャナーの電源を切ってから、再び電源を入れてください。 この方法を試しても解決されない場合は、表示されているエラーコードをメモし、本製品をご購入された販社 / 販売店または「PFU イメージング サービス&サポートセンター」（20 ページ）に連絡してください。
A1:B3	インプリンタ異常（通信タイムアウト）	
A2:B5	インプリンタ異常（裏面印字ヘッド）	
A3:B6	インプリンタ異常（EEPROM）	
A4:B8	インプリンタ異常（ROM）	
A2:BB	インプリンタ異常（表面印字ヘッド）	
H6:B1	インプリンタ系異常	インプリンタに異常が発生しています。 スキャナーの電源を切ってから、再び電源を入れてください。 この方法を試しても解決されない場合は、表示されているエラーコードをメモし、本製品をご購入された販社 / 販売店または「PFU イメージング サービス&サポートセンター」（20 ページ）に連絡してください。



操作パネルに表示されるエラー表示の詳細、およびその他のエラーについては、使用しているスキャナーのオペレーターガイドを参照してください。

第5章 仕様

この章では、インプリンタの仕様を説明します。

項目	説明																
	表面インプリンタ (fi-680PRF)	裏面インプリンタ (fi-680PRB)															
印字方式	サーマル・インクジェット																
印字タイプ	ポストインプリンタ (読み取り後に印字)																
	表面印字	裏面印字															
印字文字	アルファベット: A ~ Z, a ~ z 数字: 0, 1 ~ 9 記号: ! " \$ % & ' () * +, - . / : ; < = > ? @ [¥] ^ _ ` { } ~																
最大印字文字数	43 桁																
印刷方向	標準、太字 : 0°, 180° (横書き)、90°, 270° (縦書き) 細幅字 : 0°, 180° (横書き)																
文字サイズ	標準、太字 : 縦 2.91 × 横 3.03mm (横書き), 縦 3.03 × 横 2.91mm (縦書き) 細幅字 : 縦 2.91 × 横 1.71mm (横書き)																
フォントスタイル	標準、太字、細幅字																
文字幅	<table border="1"> <thead> <tr> <th>印刷方向</th> <th>フォントスタイル</th> <th>文字幅</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">0°, 180° (横書き)</td> <td>標準</td> <td>2.28mm±20%</td> </tr> <tr> <td>太字</td> <td>2.65mm±20%</td> </tr> <tr> <td>細幅字</td> <td>1.90mm±20%</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">90°, 270° (縦書き)</td> <td>標準</td> <td>2.65mm±20%</td> </tr> <tr> <td>太字</td> <td>2.65mm±20%</td> </tr> </tbody> </table>		印刷方向	フォントスタイル	文字幅	0°, 180° (横書き)	標準	2.28mm±20%	太字	2.65mm±20%	細幅字	1.90mm±20%	90°, 270° (縦書き)	標準	2.65mm±20%	太字	2.65mm±20%
印刷方向	フォントスタイル	文字幅															
0°, 180° (横書き)	標準	2.28mm±20%															
	太字	2.65mm±20%															
	細幅字	1.90mm±20%															
90°, 270° (縦書き)	標準	2.65mm±20%															
	太字	2.65mm±20%															
使用可能な原稿	<p>スキャナーで使用可能な原稿 詳細は、使用しているスキャナーのオペレーターガイドを参照してください。 ただし、原稿のサイズおよび原稿の厚さは、以下になります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 原稿の最小サイズ (幅 × 長さ) 52mm×74mm ● 原稿の最大サイズ (幅 × 長さ) 297mm×420mm ● 原稿の厚さ 52 ~ 157g/m² <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">  感熱紙、熱転写用紙、コート紙、アート紙など、表面に光沢のある原稿はインクの乾きが悪く、印字が不良になることがあります。また、清掃周期も短くなります。 </div>																

項目	説明	
	表面インプリンタ (fi-680PRF)	裏面インプリンタ (fi-680PRB)
印字領域	<p>斜線部が印字可能領域となります。ほかの領域は、装置の構造上印字できません。</p> <p>単位 : mm</p>	<p>斜線部が印字可能領域となります。ほかの領域は、装置の構造上印字できません。</p> <p>単位 : mm</p>
印字位置精度	垂直方向 : ±4mm (開始位置)、水平方向 : ±4mm (開始位置)	
動作環境	温度 : 15 ~ 35°C 湿度 : 20 ~ 80%	
消耗品	プリントカートリッジ (型名 : FI-C200PC) (「サプライ用品の購入先」 (20 ページ) 参照) 印字可能文字数 : 4,000,000 文字 ただし、フォントの指定に依存して減少することがあります。	

保守サポート期間は、お客様の購入後 5 年間です。本製品の修理部品の最低供給期間は、製造中止後 5 年間です。

修理・お問い合わせについて

当社では、お客様に安心して業務用イメージスキャナー fi シリーズをお使いいただけるよう、万全のサポート体制を整えています。購入時にご加入いただく契約サービスと、必要なときにその都度ご利用いただけるスポットサービスにより、お客様を強力にバックアップいたします。



保証期間内に、正常な使用状態で故障した場合は、**無償で修理いたします。**
保証期間については、保証書を参照してください。

■ 契約サービス（有償）

事前に契約を結んでいただくことで、ご購入後も万全のサポートを提供いたします。

- 定額定期保守サービス
年に1度サービスエンジニアが予防保守を行います。万一の障害発生時には、サービスエンジニアがお客様のもとにおかがいして保守修理作業を実施します。
- 定額訪問修理サービス
万一の障害発生時には、サービスエンジニアがお客様のもとにおかがいして保守修理作業を実施します。

■ スポットサービス（有償）

必要なときに、その都度ご利用いただけます。

- 訪問修理（有償）(*1)
本製品の故障発生時にご連絡いただくと、その後、サービスエンジニアが直接修理にうかがいます。

*1) 保証期間中の場合も有償となります。

詳細はホームページをご覧ください

<https://www.pfu.ricoh.com/fi/support/maintenance-service/>

本サービスは、予告なく変更される場合がございます。詳細につきましては、当社ホームページでご確認いただくか、PFU イメージング サービス&サポートセンターまでお問い合わせください。



- 本製品の修理はお客様自身で行わないでください。
- 本製品の保証条件は同梱の当社の保証書の規定をご覧ください。
- 本製品の修理部品の供給期間は製造中止後5年間です。

■ お問い合わせ窓口

お客様からの業務用イメージスキャナー fi シリーズ全般に関する操作や故障・トラブルのお問い合わせに迅速に対応いたします。

故障・トラブルのお問い合わせのときは、使用しているスキャナーのオペレーターガイドの「サービスセンターに連絡する前に」を参考に必要事項を確認してください。

- PFU イメージング サービス&サポートセンター

お問い合わせ先

以下のホームページをご覧ください。

<https://www.pfu.ricoh.com/imaging/contact.html>



■ サプライ用品の購入先

清掃用品や消耗品などのお問い合わせやご購入については、本製品を購入された弊社/販売店または当社 PFU ダイレクトにお問い合わせください。

- 株式会社 PFU PFU ダイレクト

お問い合わせ先

以下のホームページをご覧ください。

<https://www.pfu.ricoh.com/direct/>



fi-680PRF/PRB インプリンタ

オペレーターガイド

P3PC-2512-07

発行日 2023 年 6 月

発行責任 株式会社 PFU

- 本書の内容は、改善のため予告なく変更することがあります。
- 本書に記載されたデータの使用に起因する、第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社は一切その責任を負いません。
- 無断転載を禁じます。
- 落丁、乱丁本はお取り替えいたします。